

ニシフェアール第21回公演

名古屋市民芸術祭 2025 参加

『枯淡の美』

～ 薩摩琵琶とフルートによる ～

【出演】 久保田晶子 (薩摩琵琶) — 丹下聡子 (フルート)
伊藤美由紀 (作曲) — 倉地佑奈 (作曲) — 水野みか子 (作曲)



【曲目】

古典
ドビュッシー
伊藤美由紀
倉地佑奈

—— 平家物語より「敦盛」 (Bi.)
—— シラレクス (Fl.)
—— 新作 (世界初演) (Fl. & Bi.)
—— 新作 (世界初演) (Fl.)

BW@ and Flute

松村禎三
真鍋尚之
水野みか子

—— 詩曲 (A.fl. & Bi.)
—— Invention N (A.fl.)
—— 新作 (世界初演) (Bi.)

◆ チケット (消費税込・全席自由)
一般 ¥3,000 学生 ¥2,000 (当日各500円増)
*学生料金は25歳以下対象 (要証明書)
未就学児のご入場は、お断りする場合がございます。

◆ チケットのお取り扱い
ニンフェアール nymheart@yahoo.co.jp
090-5621-3697 (メール・電話予約受付中)
愛知芸術文化センター地下2階プレイガイド
052-972-0430 (平日10:00~19:00、土日休~18:00)

■主 催・お問い合わせ ニンフェアール 090-5621-3697・nymheart@yahoo.co.jp
■共 催 愛知県芸術劇場 (公益財団法人愛知県文化振興事業団)
■助 成 カワイサウンド技術・音楽振興財団研究助成
■協力 村松楽器販売株式会社

2025年11月16日(日) 13時45分開演

(13時15分開場)

愛知県芸術劇場中リハーサル室

(愛知芸術文化センター地下2階)

2023年に開催されたニンフェアール第19回公演で名古屋市民芸術祭特別賞「クリエイティブ企画賞」を受賞し、結成20周年となる昨年度は、ヨーロッパを中心に現代音楽に力を入れて国際的に活躍するアンサンブル・ホリゾンテとのコラボレーションコンサートにより成功を収めた。30周年にむけて更に挑戦を試みたいと考えている。今年はニンフェアールでは始めお届けする薩摩琵琶に焦点をあてる。現代作品の初演も多数手がけ国内外で活躍中の薩摩琵琶の久保田晶子と、名古屋の音楽クラコ座のメンバーとしても活躍したフルートの丹下聡子によるソロとデュオ作品による構成となる。愛知県在住の3名の作曲家、伊藤美由紀、倉地佑奈、水野みか子による新作を含めて薩摩琵琶の古典作品、アルトフルートソロ作品など盛りだくさんな内容となる。是非、生演奏の迫力をアットホームな空間でお楽しみ下さい！

◆ニンフェアール について

2005年愛知県で開催された国際芸術音楽祭に参加を機に作曲家の伊藤美由紀により結成されたプロジェクト。愛知県にゆかりのある作曲家、演奏家を国内外から招聘し、テクノロジーを利用したり、映像作家とのコラボレーション、文学をテーマとしたコンサートなど個性的なアイデアで精力的に企画を行う。2014年第10回公演『東洋と西洋の絃』にて、チャレンジ精神に満ちた企画で且つ公演成果の水準の高い優れた公演に贈られる第14回佐治敬三賞を受賞。第19回公演は、長年現代音楽に挑戦してきた成果が結実し、現代音楽を楽しむための創意工夫が随所に凝らされた公演として名古屋市民芸術祭特別賞「クリエイティブ企画賞」を受賞。

出演者 Profile



久保田晶子 (薩摩琵琶)

平家物語や軍記物などの古典曲の演奏を中心に、琵琶ならではの「語り」の表現を求め国内外で積極的に活動。民謡を原作とした現代語での新作の自作自演なども多数。本来は一人で弾き語る琵琶だが、琵琶二人語りや人形芝居とのコラボレーションなど新しい表現にも挑戦。また日本音楽集団やアンサンブル室町など現代邦楽アンサンブル団体でも活躍。アニメやゲーム音楽、大河ドラマなどの録音にも多く参加、劇中音楽の創作・演奏もしている。ブラジル、香港、インドネシア、ボリビア、イギリスなど国外での活動も多数。2016年ブリュッセル、2018年ケルン、2020年上海にて武満徹作品のソリストとして現地オーケストラと共演し、世代ソリストとして期待されている。2019年第56回琵琶コンクール第一位、文部科学大臣賞受賞。【主催・参加団体】日本音楽集団、谷中琵琶Style、Kikiふおれすと、和楽団、アンサンブル室町。



丹下聡子 (フルート)

フルート奏者、保育士。愛知県立芸術大学にて博士号取得(音楽)。博士論文のテーマは19世紀フランスのフルート奏者アンリ・アルテスのフルート教本に関するものでタイトルは『アルテスのフルート教本再考——導音の奏法に見る19世紀の美意識——』。第7回ながのアスペン音楽祭にて音楽賞受賞。奨学金を得てアメリカ・コロラド州アスペン音楽祭に参加。講師の推薦を受けてYoung Artist Concertに出演。ソリストは愛知県小坂井町、名古屋市ほかで開催。2015年1月の名古屋でのリサイタルは『音楽現代』(2015年4月号)に批評が掲載された。これまでに現代音楽演奏グループの音楽クラコ座のメンバーとして世界初演を含む現代音楽の演奏も多く手がけており、愛知県立芸術大学、名古屋大学では非常勤講師を務めた。現在は、保育園に勤務しながら幼児教育における音楽についての研究を行い、東京家政大学 非常勤講師として将来保育士を目指す学生への指導も行っている。



伊藤美由紀 (作曲)

愛知県立芸術大学、マンハッタン音楽院(ニューヨーク)修士課程修了後、コロンビア大学(ニューヨーク)で作曲をトリストラン・ミュライユに師事。博士号を取得。文化庁芸術家在外研修員としてIRCAM(フランス国立音響音楽研究所)にて研鑽を積む。ミュージック・フロム・ジャパン(ニューヨーク)、アタック・シアター(ヒッツバーグ)、愛知芸術文化センター、Sinus Ton(ドイツ)、大矢素子、加藤訓子、等からの作品委嘱ほか、名古屋文化振興賞、日本交楽団振興財団作曲賞入選、フランコ・エヴァンジェリスティ国際コンクール(イタリア)優勝などを含み、カーネギーホール、レゾナンス・フェスティバル(パリ)、ISCM(香港、エストニア)、ICMC(マイアミ)、SMC(ギリシャ、スペイン)、Re:New(デンマーク)、Visiones Sonoras(メキシコ)、Foro国際現代音楽祭(メキシコ)、アジア音楽祭など国内外で作品の発表を続けている。また、ニンフェアール JUMP(日本：新しい音楽の展望)の代表として自主企画公演を定期的に展開。『時の砂』がALC800から、『もうひとつの声』が2020年トーンフォレスト・レコードからリリース。執筆活動として『音楽現代』に特集記事や公演批評を寄稿。2019年カワイサウンド技術・音楽振興財団研究助成による研究テーマは『二十五絃の可能性』、2025年研究テーマは『薩摩琵琶の可能性』。国際交流基金の助成により3回メキシコ公演ツアーを行い現代音楽を通しての文化交流活動も継続。今まで名古屋芸術大学、千葉商科大学、愛知県立芸術大学大学院、愛知県立大学、四川音楽学院(中国)などで後進の指導にあたっている。



倉地 佑奈 (作曲)

作曲家。音楽とインターネット文化についての研究も行う。音楽家とメディアアーティストによるコレクティブ「[Sur]real / サリアル」主宰。愛知県立芸術大学非常勤講師。愛知県立明和高校音楽科、愛知県立芸術大学卒業。同大学大学院博士前期・後期課程修了。ヨーテボリ大学(スウェーデン)に派遣留学。作曲を櫻井ゆかり、小林聡雄、アンドリアン・ベルト・マリン・ボーンの各氏に師事。《水底の世界より》(Cl Vn Va Vc)が、The 9th New Music on the Bayou Festivalにて再演される(アメリカ 2025)。《Density Flow》(Kantele)が、ムジカ・ノヴァ・ヘルシンキにて演奏される(2025)。ユーリヤ作曲委嘱助成金を受賞し、《形而上を誘うはクスノキの葉擦れ》(Vn Va Vc)が、在フィンランド・アメリカ大使館とヘルシンキ・ミュージックセンターにて演奏される(2022)。第35回「Città di Barletta」国際作曲コンクール第1位。アカデミア・ムジカ国際作曲コンクール第1位。青山音楽財団、北野生涯教育振興会、日東学術振興財団、スカンジナビア・ニッポン ササカワ財団、業務スーパージャパンドリーム財団より助成を受ける。



水野みか子 (作曲)

作曲と音楽学の分野で活動展開。作曲作品は、衛武宮台湾国立芸術センター開館記念演奏会、オーケストラ・プロジェクト、セントラル愛知交響楽団定演、愛知室内オーケストラ定演、アジア音楽祭、ニューヨーク市電子音響音楽祭NYCEMF、国際現代音楽協会ISCM「世界新音楽の日々」、国際コンピュータ音楽会議ICMC等、国内外で広く演奏されている。北京中央音楽院、台湾国立交通大学、イタリアのアルパ音楽祭、フランスのソルボンヌ大学およびランス地方音楽院、国立音響音楽研究所IRCAMなどに招かれて講演を行なった。近著に《東アジアの電子音響音楽》(2017 英語)、《極東アジアと欧州の埴:現代レパートリーの開拓》(2022 英語)、《建築が夢見る音楽》(2024) [以上共著]等がある。現在、国際コンピュータ音楽協会理事、日本電子音楽協会会長、芸術工学会理事、名古屋音楽大学特任教授。